

令和9年度

工 学 部
3 年 次 編 入 学
学 生 募 集 要 項



重要なお知らせ

「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意点について

「こども性暴力防止法」(※)が令和6年6月に成立し、令和8年12月25日に施行されます。

本法律は、こどもを性暴力から守り、その心身の安全を確保することを目的としています。

具体的には、教育実習やこどもと接する実習・ボランティア活動等を行う見込みのある学生に対し、法の趣旨を理解していただくため、同意書・誓約書(特定性犯罪前科がないこと)の書類提出が必要となる場合があります。

なお、これに伴う注意事項を以下に掲載しておりますので、内容を十分にご理解いただいたうえで、出願をご検討ください。

山梨大学 > 受験生ニュース 「こども性暴力防止法」の施行に関するお知らせ

URL : <https://www.yamanashi.ac.jp/examination/56335>



※ 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	2
2. 募集人員	6
3. 出願資格	6
4. 出願手続	8
5. 障害等のある入学志願者の事前相談	13
6. 受験票	14
7. 選抜方法	15
8. 受験上の注意	19
9. 合格者発表	21
10. 入学手続	21
11. 単位認定	22
12. 入試情報の開示	23
13. 個人情報の取扱いについて	23
14. その他の留意事項	23
15. 入学試験における感染症対応	23
16. 大学・学部・学科・コース等紹介	24
17. 甲府キャンパス案内図	25

募集要項について

不測の事態（災害等）により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学の理念・目標とアドミッションポリシー

理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

アドミッションポリシー

求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、学位授与方針に定められる資質・能力（コンピテンシー）をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、知的好奇心をもちカリキュラムに沿って継続的・主体的に学修し、卒業後は専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつ人を求めます。ただし、入学時において以下のような基礎的な資質能力を備えていることが必要です。

入学者に求める資質・能力

- ・ 高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識。
 - ・ 各教育プログラムの学修に必要な資質・能力（思考力・判断力・表現力など）。
- *ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

工学部の理念・目標とアドミッションポリシー

理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成します。

キャッチフレーズ

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

教育目標

基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材の養成を目指します。

アドミッションポリシー

育成目標

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

工学部のキャッチフレーズ「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を指針とし、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 工学または各コースで学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 工学を学ぶ上で必要となる数学、理科の基礎力を有していること
- 多様な情報を分析し、主体的に判断できること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

工学科

試験区分別の入学者選抜の基本方針

3年次編入学試験では、出願書類、筆記試験や口述試験により、本学科で学ぶ強い意欲と専門科目に関する基礎学力を有した学生を求める入試を行います。

「成績証明書」では、基礎科目や専門科目の履修状況を通して、本学科における修学が可能な基礎的学力を備えているかを判定します。「筆記試験」や「口述試験」では、各専門分野に関する基礎的学力を評価し、「面接」では、本学科で学ぶ意欲や専門分野への興味・関心について評価します。

クリーンエネルギー化学コース

育成目標と求める能力・人物像

人類の持続的な発展のためエネルギーの確保、環境の保全は最重要課題です。本コースでは、環境にやさしく高効率なエネルギー創製、利用に関する専門知識や技術を備えた、この最重要課題の解決に貢献できる技術者・研究者の養成をめざしています。本コースの卒業生は、クリーンエネルギー技術の社会実装実現を担う企業、たとえば自動車メーカー、電気機器メーカー、材料メーカーなど様々な分野において活躍することができます。そのために、次のような人を求めています。

- 化学のなかでも特にエネルギー材料、エネルギー変換・貯蔵技術などのクリーンエネルギー化学に対する強い興味をもつ人
- クリーンエネルギー化学の学問、研究を通じて人類の持続的な発展に寄与する意欲をもつ人
- 理科（特に化学）、数学、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲をもつ人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。クリーンエネルギー化学は化学を基礎として、物理・生物・地学を含めた広い視点から、エネルギーや環境などの諸問題に取り組む分野です。化学全般の内容を深く理解するとともに、理科全般の素養、さらには研究結果の解析に必要な数学、文献の読解やコミュニケーションに必要な国語・英語の基礎学力を備えていることを期待しています。

応用化学コース

育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学んだ技術者は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本コースでは、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

土木環境工学コース

育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学を学んだ技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本コースでは、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が多い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

コンピュータ理工学コース

育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本コースは、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

機械工学コース

育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために、次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

メカトロニクスコース

育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本コースでは、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。またメカトロニクスコースは、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

電気電子工学コース

育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本コースは、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

2. 募集人員

学部	学科	コース	推薦選抜	一般選抜	
工学部	工	クリーンエネルギー化学コース		若干人	
		応用化学コース		若干人	
		土木環境工学コース	若干人	若干人	
	学	科	コンピュータ理工学コース		5人
			機械工学コース		10人
			メカトロニクスコース		若干人
			電気電子工学コース		5人

*編入年次は3年次とします。

3. 出願資格

(1) 推薦選抜

土木環境工学コース

次の各号のすべてに該当する方

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第115条に定める高等専門学校において、本コースと関連の深い学科を2027年3月に卒業見込みの方
- (2) 在学中の通算の学業成績順位が、当該学科の上位15位以内で、学校長の推薦を得られる方
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 1校から推薦し得る人数に制限はありません。

【注】 在学中の学科が、本学の志望コースとの関連が深いかどうか相談したい場合は、2026年5月8日（金）16時30分までに、工学域支援課教務グループ（電話：055-220-8738）へお問い合わせください。なお、期限を過ぎてのお問い合わせには回答できません。また、お問い合わせの際には在籍学校の成績証明書とシラバスを用意してください。

(2) 一般選抜

全コース共通

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 108 条に定める短期大学において、本学の志望コースと関連の深い学科を卒業した方又は 2027 年 3 月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学において、本学の志望コースと関連の深い学科に 2 年以上（休学期間を除く。）在学し、80 単位以上修得した方又は 2027 年 3 月までに修得見込みの方（2027 年 3 月末に 2 年以上の在学となる方を含む。）
- (3) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 115 条に定める高等専門学校において、本学の志望コースと関連の深い学科を卒業した方又は 2027 年 3 月までに卒業見込みの方
- (4) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 58 条に定める高等学校等専攻科において、本学の志望コースと関連の深い学科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した方又は 2027 年 3 月修了見込みの方
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）において、本学の志望コースと関連の深い学科の課程を修了した方又は 2027 年 3 月修了見込みの方
- (6) その他、本学において、これらと同等以上の学力があると認めの方

【注 1】 上記（4）、（5）及び（6）の資格により入学を志願しようとする方は、事前に出願資格の審査を行いますので、**教学支援部入試課（電話：055-220-8046）に電話連絡の上、2026 年 5 月 8 日（金）16 時 30 分までに下記の書類を提出してください。**書類の提出方法等については電話連絡時に説明します。なお、下記以外に追加で書類を提出いただく場合があります。

出願資格審査書類	摘 要（原則 A4 サイズで提出すること）
履歴書	様式自由
成績証明書	出身学校長等が作成したもの【厳封※】 ※発行依頼時に、成績証明書に貴校で使用されている合格の成績評価基準(A~D の 4 段階評価、優・良・可の 3 段階評価、100 点満点等)が記載されているかを確認の上、成績証明書に成績評価基準が記載されていない場合は、成績評価基準が分かる書類を添付すること
卒業（見込）証明書	出身学校長等が作成したもの
シラバス	成績証明書に記載のある科目すべてのシラバス ※データでの提出可
取得資格証明書	※取得資格がある場合のみ提出

※厳封：証明書の入った封筒に厳封印を押印し、密封することです。封筒に厳封を表す印のないものは受理できません。
封筒に厳封印がない場合は発行元に厳封処理を依頼してください。

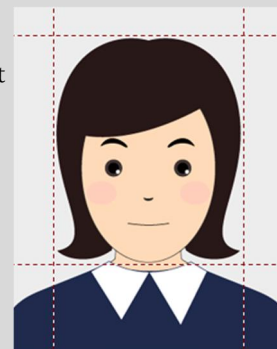
【注 2】 在学中又は卒業した学科が、本学の志望コースとの関連が深いかどうか相談したい場合は、2026 年 5 月 8 日（金）16 時 30 分までに、工学域支援課教務グループ（電話：055-220-8738）へお問い合わせください。なお、期限を過ぎてのお問い合わせについては回答できません。また、お問い合わせの際には在籍学校の成績証明書とシラバスを用意してください。

4. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）
- 証明写真（顔写真）データ



（良い顔写真の例）

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機（写真データのダウンロードができるもの）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。

※証明写真機での撮影を推奨します。それ以外の方法で撮影した場合には本学指定の写真サイズとなっていることを必ず確認してください。

- ・試験日前3ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦800px×横600px以上（縦横比4：3）、3MB以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEGであること。（ファイル拡張子はjpg）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後メールが届きますので、本文の案内に従い30分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。
(出願期間終了日から土・日・祝日を除く3日後までにメールで通知します。)

* 出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

(1) 出願期間

2026年5月18日（月）～2026年5月25日（月）16時30分【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料：30,000円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択してください。
①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に2時間程度かかります。（入金が確認されないと出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。）
- すべての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後は、下記「入学検定料の返還」の対象者を除きいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

* 入学検定料の免除

- 対象者……………次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

- 必要書類……………ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) を確認してください。
- 受付期間……………出願期間開始日まで（土・日・祝日を除く）
- お問い合わせ先……………山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

* 入学検定料の返還

- 対象者……………出願が受理されなかった方に限り、入学検定料を返還します。
- 請求方法……………対象者に別途通知します。

(3) 出願書類

出願期間中に提出する書類

☆の様式はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードできます。

出願書類	摘 要 (原則 A4 サイズで提出すること)
成績証明書	推薦 一般 出身学校長等が作成したもの【厳封*】 ※発行依頼時に、成績証明書に貴校で使用されている合格の成績評価基準(A~Dの4段階評価、優・良・可の3段階評価、100点満点等)が記載されているかを確認の上、成績証明書に成績評価基準が記載されていない場合は、成績評価基準が分かる書類を添付すること
卒業(見込)証明書	推薦 出身学校長等が作成したもの 一般 【一般選拔出願資格(2)に該当する方は不要】 出身学校長等が作成したもの
在学証明書	一般 【一般選拔出願資格(2)に該当する方】 出身学校長等が作成したもの (休学期間がある場合は、休学期間が記載されているもの)
単位取得(見込)証明書 (又は履修登録科目確認票)	一般 【一般選拔出願資格(2)に該当する方】 厳封* 証明できる単位数が80単位数に満たない場合は、今後の履修予定表(科目名と単位数を記載すること、任意様式)を作成し、添付すること
☆推薦書	推薦 本学所定の様式により、出身学校長等が作成したもの【厳封*】
☆研究計画書	推薦 本学所定の様式により、志願者が作成したもの
履歴書	推薦 一般 Web出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷したもの
住民票	【国籍が日本国以外の方】 住居地の市区町村長が交付する国籍、在留資格及び在留期間が明記されたもの
戸籍抄本	【改姓等により証明書等の氏名が異なる方】

※厳封：証明書の入った封筒に厳封印を押印し、密封することです。封筒に厳封を表す印のないものは受理できません。

封筒に厳封印がない場合は発行元に厳封処理を依頼してください。

出願書類一覧表

◎ 全員提出、△ 該当者のみ提出、- 提出不要

学部	選抜区分	成績証明書	証明書 卒業(見込) 書	在学証明書	証明書 単位取得(見込) 書	推薦書	研究計画書	履歴書	住民票	戸籍抄本
工学	推薦	◎	◎	-	-	◎	◎	◎	△	△
	一般	◎	△	△	△	-	-	◎	△	△

* 出願書類の作成方法

- 作成方法は、指定がないものについては自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。
- 本学所定の様式は必ず本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載している当該年度の Word または PDF データを使用してください。過年度の様式等を使用した場合、再提出をお願いする場合があります。

* 入学者選抜における生成 AI の取扱いについて

山梨大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成 AI について使用上の注意喚起を行っています。

生成 AI はユーザからの問いに対して常に正しい回答を返すわけではありません。また、生成 AI はインターネット上のデータを学習して文章等を生成するため、生成された文章等を自分の作成物として扱うことは、剽窃や著作権侵害のリスクがあります。さらに生成 AI に入力した情報は、AI の学習に利用される可能性もあり、意図せず個人情報や研究情報の漏洩につながる恐れがあります。

入学者選抜において、出願時に自ら作成して提出する書類（多面的・総合的な評価のための申告書、志望理由書、研究計画書など）は、本学への適性や能力を確認するために大変重要なものです。よって、生成 AI により生成された文章等をそのまま使用することは一切認められません。判明した場合は、不正行為とみなし合格を取り消します。

出願書類の作成に当たっては、本学のアドミッションポリシーを確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、受験生が自分で考え作成した成果物を提出してください。

(4) 出願書類の提出方法

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類がすべて揃っているか最終確認してください。
- ② Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形 2 号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
- ③ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。
(山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL: 055-220-8046)

5. 障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、下記受付期間内に教学支援部入試課に電話やメールで申し出て事前相談を行ってください。

相談方法等は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>) を参照してください。

受付期間：**2026年5月15日(金)まで**

お問い合わせ先：山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

TEL：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

- 受験上の配慮を希望する方は、原則として受付期間内にご相談ください。
- 事前相談は配慮の調整を円滑に行い、建設的な対話を通してよりよく進めるためのもので、障害等のある入学志願者の受験や修学を制限するものではありません。
- 希望内容によっては期間内にご相談いただいた場合でも対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 受付期間を過ぎて申請された場合、提供できる受験上の配慮が限られていきますので、早急にご相談ください。

また、学生サポートセンターでは、障害のある学生の修学支援や支援調整を行っています。以下のお問い合わせ先では、入学後に修学上の配慮を希望している方の事前相談に応じています。

お問い合わせ先

学生サポートセンター アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

〒400-8510 甲府市武田 4-4-37 B-1 号館

ホームページ：<https://www.sp-needs.yamanashi.ac.jp/>

E-mail：sp-needs@yamanashi.ac.jp 電話：055-220-8467

6. 受験票

本学からの受験票の郵送はありません。

受験票は Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】 出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知

【印刷可能期間】 通知の受信日 ～ 2027 年 3 月 31 日まで

【印刷方法】 Web 出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記印刷可能期間で受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。
- 受験票の印刷方法は白色の A4 用紙、倍率 100%、カラー印刷とします。
- 受験票には Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。
- 受験票の余白や裏面には何も書き込まないでください。

7. 選抜方法

(1) 選抜方法・合否判定基準

推 薦 選 抜

コ ー ス	選抜方法・合否判定基準
土木環境工学コース	<p>学業成績、人物がともに優れ、かつ本コースへの入学の意志が強い方について、成績証明書、ならびにコース独自に行う試験（面接）の結果を総合的に判断し合格者を決定します。</p> <p>総合点が同点の場合は「面接」の得点の高い者を上位とします。それでもなお同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同順位者全員を合格とします。</p> <p>ただし、総合点が合格判定基準点未満の者は不合格とします。</p>

一 般 選 抜

コ ー ス	選抜方法・合否判定基準
クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース	<p>学業成績、人物がともに優れ、かつ志願コースへの入学の意志が強い方について、成績証明書、ならびにコース独自に行う口述試験の成績の総合点により順位付けを行い合格者を決定します。</p> <p>総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同順位者全員を合格とします。</p> <p>ただし、総合点が合格判定基準点未満の者は不合格とします。</p>
土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース	<p>学業成績、人物がともに優れ、かつ志願コースへの入学の意志が強い方について、成績証明書、ならびにコース独自に行う試験（筆記試験及び口述試験）の結果を総合的に判断し合格者を決定します。</p> <p>総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同順位者全員を合格とします。</p> <p>ただし、口述試験で「否」と判断された者、成績証明書と筆記試験の評価の合計が合格判定基準点未満の者は不合格とします。</p>

(2) 選抜期日・場所

期日：2026年6月13日(土)

場所：山梨大学甲府キャンパス(山梨県甲府市武田4-4-37)

推薦選抜

コース	集合時刻	集合場所	試験時間	検査
土木環境工学コース	8:45	甲府東キャンパス A-2号館1階ロビー	9:00～13:00*	面接

※試験終了時刻は受験者数により変わります。

一般選抜

コース	集合時刻	集合場所	試験時間	検査
クリーンエネルギー化学コース	8:45	甲府東キャンパス A-2号館1階ロビー	9:00～13:00*	口述試験
応用化学コース	8:45	甲府西キャンパス 総合研究棟1階ロビー	9:00～13:00*	口述試験
土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース	8:45	甲府東キャンパス A-2号館1階ロビー	9:00～13:00*	筆記試験及び 口述試験

※試験終了時刻は受験者数により変わります。

(3) 検査内容等

推 薦 選 抜		
コ ー ス	検 査	検査内容等
土木環境工学コース	面 接	研究計画書・推薦書・成績証明書に関する内容、土木環境工学の基礎的事項、志望動機、適性、一般常識

一 般 選 抜		
コ ー ス	検 査	検査内容等
クリーンエネルギー化学コース	口述試験	志望動機、適性、及び専門基礎（物理化学、分析化学、無機化学、有機化学）と化学英語の知識
応用化学コース	口述試験	志望動機、適性、及び専門基礎（物理化学、分析化学、無機化学、有機化学）と化学英語の知識
土木環境工学コース	筆記試験	構造力学、水理学、土質力学の3科目を解答
	口述試験	土木環境工学の基礎的事項、志望動機、適性、一般常識
コンピュータ理工学コース	筆記試験	プログラミング、計算機アーキテクチャ、情報数学から2科目を選択解答
	口述試験	コンピュータ理工学に関する専門分野の基礎的事項、意欲、コミュニケーション力、思考力
機械工学コース	筆記試験	材料力学、機械力学、熱力学、水力学、金属材料から3科目を選択解答
	口述試験	機械工学に関する専門分野の基礎的事項、志望動機、卒業研究内容、将来の希望・進路
メカトロニクスコース	筆記試験	材料力学、機械力学、電子回路、デジタル回路、ソフトウェア、情報数学（離散数学）から3科目を選択解答
	口述試験	メカトロニクス（機械・電気・情報）工学に関する専門分野の基礎的事項、意欲、適性
電気電子工学コース	筆記試験	電磁気学、電気回路、電子回路（アナログ）の3科目を解答
	口述試験	電気電子工学の基礎的事項、志望動機、適性、一般常識

(4) 配点

推 薦 選 抜			
コ ー ス	成績証明書	面 接	合 計
土木環境工学コース	50	50	100

一 般 選 抜				
コ ー ス	成績証明書	口述試験	筆記試験	合計
クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース	50	300		350
土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース		適否	300	

8. 受験上の注意

- (1) 試験当日は、**本学受験票**を必ず持参してください。
- (2) 机の上には、本学で指定したものの他に、鉛筆又はシャープペンシル（芯は HB 又は B の黒色に限る）、鉛筆キャップ、消しゴム（砂消しを除く）、定規（三角定規を除く）、コンパス、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋や箱から中身だけ取り出したもの）のみ置いて使用することができます。なお、これらのものを大学で貸出はいたしません。
- (3) 試験前日の 14 時～16 時は試験場の下見を認めます。ただし、下見は建物入り口までとし、建物内の下見は認めません。
- (4) 課せられた試験を 1 つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (5) 下記「不正行為」を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (6) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (7) 遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
なお、試験場に向かう途中の事故または公共交通機関の遅延等によるやむを得ない場合はこの限りではありません。やむを得ない事情で遅刻する場合は、集合時刻までに教学支援部入試課（TEL：055-220-8046）に電話してください。
- (8) 自動車による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (9) 試験当日に試験実施が困難になるような不測の事態（災害等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (10) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

* 不正行為

- Web 登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web 出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）を行うこと
- Web 出願サイトに顔面や身体部分を明らかに加工した顔写真の登録を行うこと
- カンニング（試験に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書・参考書及び辞書等の参考書類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）を行うこと
- 他の受験者に答えを教えたり、解答用紙の交換等により、カンニングの手助けを行うこと
- 試験時間中に、問題用紙、下書き用紙等を試験室から持ち出すこと
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- 「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙を開いたり、解答を始めること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具を使用すること
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー等の電子機器類を使用すること
- 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等を持っていたり、解答を続けること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具・電子機器類及び書籍類をかばん等にしまわず、衣服の中も含め身に付けていたり、手に持つなどの行為を行うこと
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出を行うこと

- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為を行うこと

9. 合格者発表

2026年 6月19日(金) 16時頃

- ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者には、合格発表当日に合格通知書を発送します。最終的な確認は合格通知書で行ってください。合格通知書には、原則 Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否のお問い合わせには応じません。
- 本学では合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありません。合否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。

10. 入学手続

2027年 2月11日(木) ~ 2027年 2月17日(水)

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続の詳細は、Web 出願サイトに登録されたメールアドレスに通知(12月下旬頃予定)します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
 - ・入学料※ 282,000円【予定】
既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。
 - ・授業料※ 年額 535,800円(前期 267,900円・後期 267,900円)【予定】
原則指定口座からの自動引落としによる納入となります。手続きについては、別途通知します。
 - ・学生保険 保険料
授業中や課外活動等、学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習・臨床実習等での不慮の事故等により賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としています。本学で取り扱っている「学生保険」は各種あります。
保険の種類及び加入方法につきましては、それぞれ保険料を含め、別途案内します。
 - ・後援会費・同窓会費・学友会費等
工学部 40,000円(後援会費・同窓会費・学友会費等、2年分)【予定】

※入学料・授業料の免除又は徴収猶予については、合格者発表後、教学支援部学生支援課(電話：055-220-8053)へお問い合わせください。

11. 単位認定

本学に編入学した方の入学前に履修した授業科目及びその修得単位数については、審査の上、その一部を本学において開設する授業科目及びその修得単位数として、次のとおり認定します。

※出身学校で修得した単位の認定は、2027年3月に提出していただく出身学校の成績証明書及びシラバス（授業内容）に基づいて行います。出身学校で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。認定単位が少ない場合や、卒業に必要な単位の科目の開講時限が重なっている場合などは、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。

推薦選抜

高等専門学校において履修した授業科目及びその修得単位については、全学共通教育科目のライフスキル科目群を2単位まで、外国語科目群のうち英語の必修科目を8単位まで、情報・数理科目群を2単位まで、学術科目群を8単位まで、創発PBL科目群を4単位まで、展開科目群を2単位までの最大計26単位までと専門科目の基礎ゼミ2単位までを一括認定する。審査の上、外国語科目群の選択外国語は4単位まで、専門科目は55単位までを認定する。

一般選抜

- (1) 大学、短期大学又は高等専門学校において履修した授業科目及びその修得単位については、全学共通教育科目のライフスキル科目群を2単位まで、外国語科目群のうち英語の必修科目を8単位まで、情報・数理科目群を2単位まで、学術科目群を8単位まで、創発PBL科目群を4単位まで、展開科目群を2単位までの最大計26単位までと専門科目の基礎ゼミ2単位までを一括認定する。審査の上、外国語科目群の選択外国語は4単位まで、専門科目は55単位までを認定する。
- (2) 大学、短期大学又は高等専門学校以外の教育施設等において履修した授業科目及びその修得単位については、審査の上、外国語科目群の選択外国語を除く全学共通教育科目は最大26単位まで、外国語科目群の選択外国語は4単位まで、専門科目の基礎ゼミは2単位まで、基礎ゼミを除く専門科目は55単位までを認定する。

12. 入試情報の開示

- 受験者本人の申請により、本人のみに入試成績を開示します。
- 詳細は、2027年4月以降にホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) でお知らせします。

13. 個人情報の取扱いについて

「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 選抜実施において取得した個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤志願動向の分析や今後の入学者選抜方法検討、大学教育の改善に関する調査・分析、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者（入学手続完了者を含む）については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

14. その他の留意事項

*奨学金について

奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話：055-220-8053）へお問い合わせください。

15. 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

16. 大学・学部・学科・コース等紹介

関連ウェブサイトの紹介

山梨大学 (<https://www.yamanashi.ac.jp>)



▼ **入試情報** (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission>)

山梨大学の入試情報について掲載しています。

過去3年分の3年次編入学試験の筆記試験問題も公表しています。

▼ **進路・就職支援** (https://www.yamanashi.ac.jp/career_placement)

取得可能な免許・資格、卒業後の進路状況や進路支援について紹介しています。

工学部工学科・大学院医工農学総合教育部

(<https://www.eng.yamanashi.ac.jp>)

学部・コース等についての詳細な紹介などを掲載しています。



クリーンエネルギー化学コース (<https://cleanchem.yamanashi.ac.jp>)

応用化学コース (<https://www.chem.yamanashi.ac.jp>)

土木環境工学コース (<https://www.ce.yamanashi.ac.jp>)

コンピュータ理工学コース (<https://www.cse.yamanashi.ac.jp>)

機械工学コース (<https://www.me2.yamanashi.ac.jp>)

メカトロニクスコース (<https://www.jm.yamanashi.ac.jp>)

電気電子工学コース (<https://ee-c.yamanashi.ac.jp/>)

各研究センター

▼ **クリーンエネルギー研究センター** (<https://www.clean.yamanashi.ac.jp>)

▼ **大学院総合研究部附属クリスタル科学研究センター** (<https://www.inorg.yamanashi.ac.jp>)

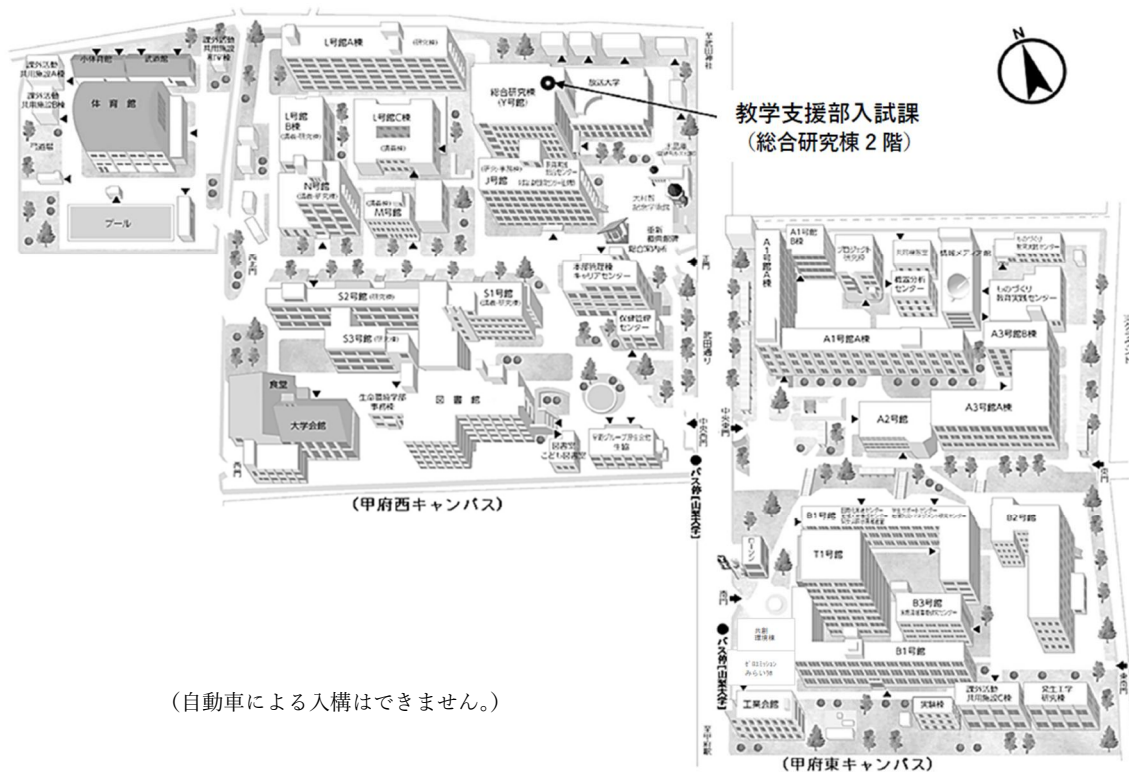
▼ **国際流域環境研究センター** (<http://www.icre.yamanashi.ac.jp>)

▼ **大学院総合研究部附属地域防災・マネジメント研究センター**
(<https://desire.yamanashi.ac.jp>)

17. 甲府キャンパス案内図

所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

甲府キャンパス建物配置図 (<https://www.yamanashi.ac.jp/campusmap>)



(自動車による入構はできません。)

甲府キャンパス周辺図

J R 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分
 J R 甲府駅下車、北口からバスで約 5 分 (「武田神社」又は「積翠寺」行き) バス停「山梨大学」下車



お問い合わせ

山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	nyushi@yamanashi.ac.jp
ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp
窓口対応時間	平日(月～金) 8:30～12:00・13:00～17:15 *土・日・祝日、夏季一斉休業(8/13～17)、 年末年始(12/29～1/3)を除く